

どうなるの？ 豊岡市中学校部活動Q & A ～ 地域連携・地域展開（移行）の取組 ～

【問合せ 学校教育課 TEL23-1452】

Q なぜ部活動を地域展開（移行）するの？

＜部活動が抱える課題＞

- ① 少子化による生徒数の減少で、チームを組むことや活動を行うことが難しくなっている学校がある。
- ② 競技・活動経験のない部活動の指導や休日の指導・大会引率などが、教員にとって大きな負担となっている。



＜部活動の地域連携・地域展開（移行）においてめざす姿＞

- ① 少子化の中でも、将来にわたって子どもたちがスポーツ・文化芸術に継続して親しむことができる機会を確保する。
- ② 地域の持続可能で多様なスポーツ・文化芸術環境を整備し、子どもたちの多様な体験の機会を確保する。

Q どのようなことをしているの？

＜豊岡市部活動の在り方検討委員会の実施＞

スポーツ・文化団体の代表、学校関係者、保護者などで構成され、豊岡市立中学校の部活動の段階的な地域連携・地域展開や合理的な部活動の推進等、部活動の在り方について検討をしています。

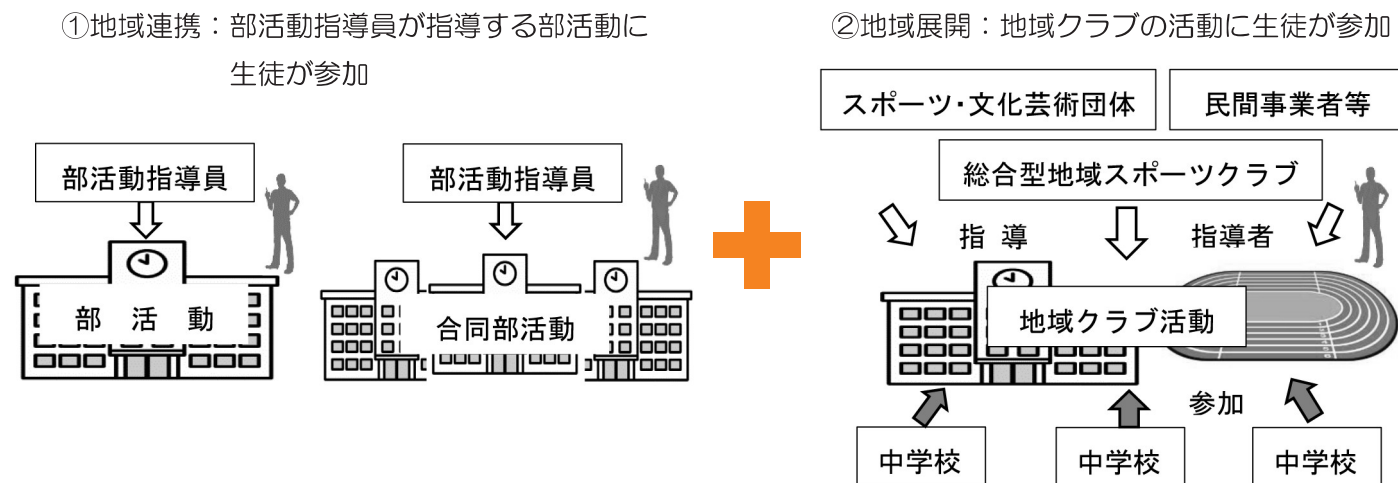
＜過去の協議事項＞

- 方向性・スケジュール
- 部活動指導員人材バンクの立ち上げ
- 地域指導者・活動場所の確保
- 教員・顧問と部活動指導員の連携 等

＜本市の取組の方向性＞

本市では、学校部活動の地域連携（部活動指導員・外部指導者など、地域指導者の活用や合同部活動等）を推進し、子どもたちの活動環境を確保しつつ、段階的に地域展開に向けた体制整備を進めます。

〔イメージ図〕



＜部活動指導員配置＞

学校部活動において、指導の質的な向上を図るとともに、担当する教員の負担を軽減するために部活動指導員を配置しています。

（役割）

- ・ 日常の部活動の指導
- ・ 大会や練習試合への引率と指導
- ・ 用具や施設の点検・管理
- ・ 生徒への安全指導
- ・ 万が一の事故対応 など

運動部（4校・15名）

	種 目	人数(名)
1	陸上部	3
2	サッカー部	3
3	野球部	1
4	バスケットボール部	1
5	バレーボール部	1
6	ボート部	4
7	剣道部	2

文化部（5校・8名）

	種 目	人数(名)
1	合唱部	1
2	吹奏楽部	6
3	音楽部	1

2025年10月末時点

○ 部活動指導員から

- ・ 地域全体で子どもたちを見守る意識が高まり、一体感が生まれています。
- ・ 子どもたちの笑顔や成長を見るのが嬉しく、自分自身も成長できます。
- ・ 先生の負担が減り、地域で支える体制がもっと広がればいいと思います。
- ・ 生徒のやりたいことができるよう、受け皿と人材の確保が大切です。

○ 指導を受けている生徒から

- ・ 専門的なことを優しく丁寧に教えてもらい、技術が上達したと感じます。
- ・ 練習の質が変わり、より高いレベルのことに挑戦できるようになりました。
- ・ いろいろなメニューを考えて、わかりやすく教えてください。
- ・ 先生とは違う視点で指摘してくれます。



○ 配置校の教員（顧問）から

- ・ 生徒が専門的な指導を受け、上達しています。
- ・ 他の業務に充てられる時間ができました。
- ・ 指導員とのコミュニケーションがとても大切だと実感しています。

Q 今後の予定は？

- 1 2026年度から、モデル事業として、数種目の競技で地域クラブ活動を展開する予定です。
※ 詳細は決定次第、お知らせします。
- 2 2026年8月以降をめどに、数種目の競技で、いくつかの学校が集まって合同部活動方式をすすめる予定です。
- 3 休日の部活動については、国のガイドラインに沿って、すべての部活動において地域展開（地域クラブ活動）の実現を目指します。